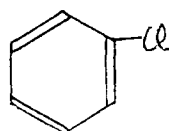


モノクロルベンゼンの濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年3月22日～昭和50年7月25日
2. 試料名 モノクロルベンゼン (試料No K-30)
- 分子式  $C_6H_5Cl$
- 構造式



3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
 薬発第615号 } 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による  
 49基局第392号

3.1 試験装置及び機器

水系環境調節装置 流水式  
 ガスクロマトグラフ 検出器 FID

3.2 試験条件

3.2.1 TLm 試験

(a) 試験魚

ヒメダカ平均体重 0.3 g 塩化第二水銀検定合格魚 ※

※田端健二 用水と廃水 14, 1297~1303 (1972)

(b) 分散剤

ポリオキシエチレン高級脂肪酸グリコールエステル

(高級脂肪酸: リシノール酸水素添加物)

第1濃度区 試料 10 g に対し 分散剤 2.5 g 使用

第2濃度区 試料 1 g に対し 分散剤 2.5 g 使用

(c) 試験温度  $25 \pm 2^\circ C$

(d) 結果 48 TLm 17 ppm

3.2.2 濃縮度試験

(a) 試験魚

コイ, 平均体重 約 3.2 g

平均体長 約 12 cm

(b) 試験温度  $25 \pm 2^\circ C$

(c) 試験濃度

設定値

48 TLm 値 17 ppm であり、その  $\frac{1}{100}$ ,  $\frac{1}{1000}$  を設定

濃度とした。

第1濃度区  $17 \text{ ppm} \times \frac{1}{100} \doteq 0.15 \text{ ppm}$

第2濃度区  $17 \text{ ppm} \times \frac{1}{1000} \doteq 0.015 \text{ ppm}$

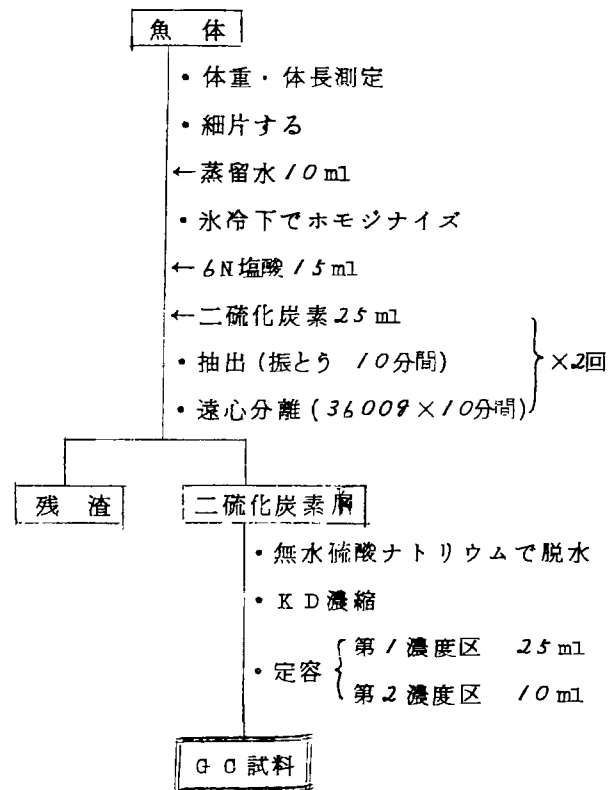
実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (ppm)

	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W
第1濃度区	0.0460	0.0429	0.0448	0.0462	0.0496
第2濃度区	0.0080	0.0084	0.0086	0.0086	0.0088

(以下余白、次頁に続く)

### 3.2.3 分析試料の前処理



### 3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 2%アピエンL/クロモソルブW

ガラスカラム 2mm $\phi$  × 3m

カラム温度 60℃~80℃ 1分間保持昇温速度 10℃/min

(以下余白、次頁に続く)

### 4 試験結果

表 ー 2 濃縮倍率

	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W	付 図	付 表
第 1 濃度区	36.5 38.1	29.5 39.6	4.3 13.8	22.2 26.6	17.0 27.3	1, 4, 5	3, 4, 6
第 2 濃度区	22.8 6.9	12.1 3.9	11.3 16.0	9.0 14.4	12.3 4.3	2, 4, 6	3, 5, 6

以 上